



【目的】親子で全身を使う運動や自然の中で体験活動を行うことにより、体を動かすことの楽しさや爽快感、自然の中で活動することの楽しさを感じる機会とする。また、親子のふれあいを通して、子どもの豊かな心や人間性を育む一助とする。

【対象】小学校1, 2年生がいる家族とその兄弟

【参加者】5家族14名 ※申込34家族111名

【プログラムの内容】

1日目

13:15 はじまりの会
 14:10 親子で挑戦！ポン太ラリー
 15:15 まき割り体験
 17:30 夕食
 18:30 天体観察
 19:45 入浴

2日目

7:10 ラジオ体操
 7:30 朝食
 9:30 解散

はじまりの会



例年通り、多くのご家族にご応募いただいたが、感染予防の観点から参加人数を少なくしての実施となった。はじまりの会では、ソーシャルディスタンスを保ちながら、オリエンテーションを聞いたり、体を動かしたりしながら緊張をほぐす時間となった。

親子で挑戦！ポン太ラリー



ツリーハウス周辺に「キャタピラー」「スラックライン」「秋の落とし物見つけ」の3つのブースを設けて、各課題に家族でチャレンジした。特に人気だったのは、キャタピラーだった。親子で声をかけあいながらゴールまで楽しんで段ボールを動かしていた。自然の中で親子で気持ちよく体を動かしていた。また、他の家族の子供同士もポン太ラリーを通して、仲良くなることのできた。

まき割り体験



初めて使う道具ばかりで、参加者は興味津々だった。道具の使い方を真剣に聞き、親子で協力しながら薪を割った。小学1年生の参加者も安全に薪を割ることができた。保護者が見守ってくれているという安心感の中で、子供は積極的にまき割りチャレンジする様子を見ることができた。まき割り後には、スモア作りに挑戦した。火を囲みながら、みんなで「おいしいね」と言いながら、自然と笑顔になっていた。

天体観察



天候にも恵まれ、火星、木星、土星、月を観察した。特に土星の環や月のクレーターも天体望遠鏡で拡大し、観察することができ、参加者からは感嘆の声が上がっていた。子供たちも図鑑では見たことはあるが、本物を自分の目で見ることができ、感動していた。

親子でラジオ体操



朝日を浴びながら、親子で元気にラジオ体操を行った。また、子供たちは、自主的に前に出てきて、堂々と今日頑張ることを発表した。

【参加者の声】「広い場所で色々な体験ができてよかった」「薪を子供が割れたのでよかった」「日ごろ目にしない道具を使うことができいい経験になった」「職員の方やボランティアの方が話しやすくしっかりと説明していただいた」「子供の伸び伸びとした様子が見られてよかった」

【成果】アンケートの結果で4（満足）が83%、3（やや満足）が17%と回答。新型コロナウイルス感染予防の視点を踏まえながら、親子間で楽しくふれあいができるプログラムを実施できた。活動中は、親が子供を温かく見守ってくれている、という安心した空間の中で、子供は初めての体験でも積極的に挑戦していく姿がみられた。

【課題】より親子間の絆を深めるためにも、親もチャレンジできる活動を設けるとよいと感じた。また、コロナウイルス感染予防の一つとして、宿泊定員を少なくしての募集だったが、宿泊応募が定員の約7倍あった。今後は、宿泊棟を多く確保する等して、コロナウイルス感染予防を取りながら、宿泊希望の家族を受け入れることができる体制を整えていくことが課題である。